

# えがお大東っ子 第42号

大東市のホームページでも「えがお大東っ子」をご覧ください。

<http://www.city.daito.lg.jp/kakukakaranoosirase/gakoukyoiku/kyouikukenkyu/egaodaitoukko/>



## 「特別の教科 道徳」がスタート！

小学校では今年度「特別の教科 道徳」がスタートしました。中学校は来年度からです。教科化に向けて、教員はさまざまな場で、講師の先生の講演や模擬授業を受けたり、道徳の授業の進め方や評価について話し合ったりと、これまで準備を進めてきました。

8月に行われた第7回大東市教育研究フォーラムの第2部でも、教員は中学校区に分かれ、小中それぞれの1学期の授業の様子、指導方法、課題等、活発に意見交流を行いました。

「特別の教科 道徳」では、これまでとは異なり、採択された教科用図書を主な教材として使用します。『よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う』という目標は変わりません。

児童生徒一人ひとりが、答えが一つではない道徳的な課題を自分自身の問題としてとらえ向き合う「考え、議論する道徳」への転換が行われているところです。

ご家庭でも、お子さんの「特別の教科 道徳」の教科書をぜひ一度読んでみてください。心揺さぶる話、考え込んでしまう話、読んだことのある懐かしい話などが載っているかもしれません。

『道徳は、心について考え、自分の心を豊かにしていく時間』（小学校の教科書より）です。

## 11月は「こころの再生」府民運動推進月間です！

「こころの再生」府民運動は、府民一人ひとりが「生命（いのち）を大切にする」「思いやる」「感謝する」「努力する」「ルールやマナーを守る」など、時代や社会がどのように変化しても決して忘れてはならない大切な『5つのこころ』を見つめ直し、「あいさつする」など身近な取り組みを実践することを呼びかけています。

皆さんも、「5つのこころ」「あいさつ」を意識して、アクションを起こしてみませんか！

また、11月3日（土・祝）、4日（日）に万博記念公園において『「こころの再生」府民運動 in ロハスフェスタ万博』が開催されます。子どもたちが楽しめるようなブース出展もあります。



大阪「こころの再生」府民運動  
～大阪あったかプロジェクト～

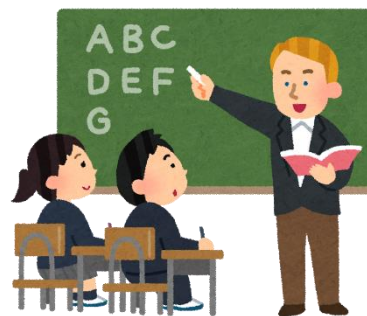
### 大切にしたい「5つのこころ」

1. 生命（いのち）を大切にする
2. 思いやる
3. 感謝する
4. 努力する
5. ルールやマナーを守る



## これからの外国語（英語）教育

グローバル化が急速に進む社会において、外国語、特に国際共通語としての英語によるコミュニケーション能力は、子どもたちがどのような職業に就いたとしても、生涯にわたる様々な場面で必要とされることが想定され、今まで以上にその能力の向上が課題となっています。



そのような中で、新しい学習指導要領が告示され、今後の外国語教育の指導方針が示されました。小学校と中学校の外国語教育について、以下にいくつかのポイントを紹介します。

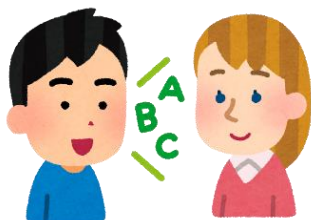
### ①小学校5・6年で外国語科が新設されます

今までは5・6年生で週1時間、外国語活動として授業が行われてきましたが、これからは週2時間となり、外国語科（教科）として授業が行われます。また3・4年生では外国語活動を週1時間行います。教科となり、時数が増えることで、今まで以上に学習したことの定着を図ります。

### ②小学校高学年より文字指導が始まります

5・6年生で文字の指導が始まります。アルファベットをなぞり書きしたり、音声で十分に慣れ親しんだ語句や文を書き写したり、アルファベットの音を聞いて、その文字を書くことができるようになったりすることをめざします。

### ③即興性のある「やり取り」を重視した活動を行います



これまでの英語教育の課題の1つとされている「スピーキング力（話す力）」の育成を図ります。スピーチのように覚えたことを話す活動に加えて、自分の考えや気持ちを伝え合ったり、質問をしたりする即興性を重視した「やり取り」を行います。教員と子ども、または子どもどうして話し合う活動を多く取り入れ、既習の表現などを用いて、できるだけ長く会話を続けることをねらいます。

### ④英語を使った授業を進めます

中学校では、基本として教員が英語を使って授業を進めるようになります。これは授業の中で生徒の「英語に触れる機会」を最大限に確保することと、授業全体を、英語を使った「実際のコミュニケーションの場面」とすることをねらいとしたものです。授業中、教員が積極的に英語を使用することで、生徒が今まで以上に英語を使って話せるようになることをめざします。

以上のようなポイントについては、小学校では2020年度、中学校では2021年度より本格的に実施されます。現在小・中学校では本格実施に向け、授業研究や教材研究に取り組んでいるところです。大東市教育委員会でも、中学3年生対象の「Daito English Trial」での英検受験料の助成や、小学校への英語DVD教材「DREAM」の導入など、市内子どもたちの英語教育の取り組みをサポートしています。

みんなに参加しよう!

## こども会活動の紹介



大東市には、市内こども会の交流・発展を目的とした「大東市こども会育成連絡協議会」、略して「市こ連」があります。市こ連では各地域こども会対抗のソフトボール大会や駅伝大会、ドッジボール大会といったスポーツ事業から、ポスター・かべ新聞等を展示・表彰するフェスティバル、作文コンクールといった文化事業など、たくさんのイベントを実施しています。

こども会活動では、スポーツ・文化事業を通し、体力づくりや創造力を伸ばすだけでなく、校区や年代を超えた友だち、地元のスポーツ指導者等と交流することができます。その経験は良い刺激となり、協調性やリーダーシップを育む場にもなります。こども会活動は、子どもの成長にプラスとなる効果がたくさんあります!

回覧板や地域の掲示板上で、ラジオ体操やクリスマス会の案内を見たことはありませんか? 各地域のこども会では参加を随時受け付けていますので、皆さんもこども会活動に参加してみませんか。



3月に行われた作文コンクール表彰式。例年最優秀賞(市長賞)は市長の前で朗読しています。



8月に行われたドッジボール大会。8月は高学年、2月は低学年を対象に大会を開催しています。

### ご存知ですか? 「大東ステップアップ学習プリント」



家庭学習の教材を探しておられるなら、大東市のホームページより「大東学び合いネット」にアクセスしてください。「大東ステップアップ学習プリント」があります。問題と解答を配信していますので、家庭学習にぜひご利用ください。学校でも取り組んでいます。

## 地域ファミリースポーツ



# 四条ブロック大会

この大会は、誰でも気軽にスポーツを楽しむように、簡単なニュースポーツを取り入れて、大東市スポーツ推進委員が開催しています。

今回の種目のキンボールは、ピンク・グレー・ブラックの3チームがコート内で、直径122cmの巨大ボールを使い、サーブやレシーブを繰り返しながら、得点を競います。

また、ボール de ビンゴは、本市スポーツ推進委員が考案したニュースポーツで、6m先のビンゴ盤の9つの穴をめがけて、ボールを転がし、縦・横・斜めのビンゴの数を競います。

いずれも1チーム4人でゲームを行いますが、1人からでも参加できます。運動が苦手だと感じておられる方も、気兼ねなく、スポーツを楽しんでみませんか。ご家族揃ってのご参加をお待ちしております。

- ・日時：平成30年11月25日（日） 午前9時30分から開始
- ・場所：大東市立四条体育館（歴史とスポーツふれあいセンター）
- ・種目：キンボール、ボール de ビンゴ
- ・持ち物：体育館シューズ ※水分補給は各自でお願いします。
- ・参加費：無料

担当課：スポーツ振興課



# 第13回大東市小中学生 弁論大会のご案内

日時：平成30年11月9日（金）午後2時 開会

場所：サーティホール（大ホール）

内容：テーマ「心をことばに～伝えたい気持ち～」

小学校6年生・中学生10名による弁論

小学校5年生12名による1分間スピーチ



小学校6年生1,079名、中学生2,230名の中から選ばれた10名の「弁論」と、小学校5年生12名による「1分間スピーチ“わたしの学校紹介”」の発表です。家庭、地域、学校での「人との出会い」の中で、また「社会の出来事」の中で、小・中学生が心に感じた素直な気持ちをことばにして伝えます。さわやかな、そして心揺さぶる小・中学生の熱弁にご期待ください。